

第三者評価結果の公表事項(児童養護施設)

①第三者評価機関名

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

②評価調査者研修修了番号

SK15125

③施設の情報

名称：社会福祉法人 清光園	種別：児童養護施設
代表者氏名：桑木 宏道	定員（利用人数）：54名
所在地：山口市阿知須1448番地	
TEL：0836-65-3122	ホームページ： http://s-seikouen.com/
【施設の概要】	
開設年月日：昭和26年1月	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 清光園	
職員数	常勤職員：26名 非常勤職員：14名
専門職員	(児童指導員)8名 (心理療法担当職員)2名
	(家庭支援専門相談員)1名 (看護師)1名
	(保育士)9名
施設・設備の概要	(居室数) (設備等)

④理念・基本方針

- ・家庭的養護推進計画の推進に向けた人材確保・育成を行う。
- ・子どもたちが安心・安全な生活を送ることができるよう支援する。
- ・子どもたちの自立に向けた支援を進める。
- ・職員間の信頼関係に基づくチームワークを充実させる。
- ・研修等を充実させ、職員の専門性を高める。

⑤施設の特徴的な取組

- ・あたりまえの生活を保障する。保護者や関係機関と情報共有し、連携を図りながら、子どもの個性に合わせた支援を行う。
- ・小規模化の推進や防犯対策。電算システムを導入による業務の省力化。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成28年6月29日（契約日）～ 平成29年6月9日（評価結果確定日）
--------	--

受審回数（前回の受審時期）	1回（平成 25年度）
---------------	-------------

⑦総評

◇特に評価の高い点

- 1) 現施設長着任後、職場の風通しもよくなり、活性化も図られている。今後の施設運営に期待したい。
- 2) ホームページが見やすく、事業内容、財務状況等の情報公開が適切になされている。また、園だより『月刊ひまわり』は常に充実した内容で、子どもたちの日々の生活の様子が単なる事実の羅列ではなく、気持ちのこもった文章表現で分りやすく書かれている。
- 3) 施設の有する専門性を地域に還元し、地域の福祉ニーズに積極的に対応している。同法人の子ども家庭支援センター清光と一体となって地域支援に積極的である。
- 4) 記録等の電算システム化を中心とした業務省力化への取組を推進している。
- 5) 子どもたちの人権と意思を尊重した生活支援や健康と安全への配慮が行われている。中でも、食生活支援では子どもの年齢や症状にふさわしい食事提供に心掛け、特に誕生日メニュー等への取組は子どもたちに満足と安心感を与えている。食育に温かみを感じられる。

◇改善を求められる点

- 1) 中・長期計画の策定が不十分である。今後の在り方を組織として協議、検討し、計画的に組織運営、施設運営を進めていただきたい。単年度計画も中・長期計画を踏まえたものとして策定されたい。
- 2) 子どもたちの支援について、職員間、特に他職種とのコミュニケーション、協力体制を充実させ、職種横断の情報共有と問題共有を図られたい。組織を挙げて諸課題の解決に取り組まれたい。
- 3) 人材育成の一環としても、職場内のOJT、スーパービジョンの体制整備を図られたい。
- 4) 日々、常に不安を口に出せず、内に秘めたまま生活する子どもたちの複雑な思いを理解し、子どもたちの人生に関わっていることの重さを自覚して、人生の先輩として率先垂範を心がけ、子どもたちとの信頼関係の構築により一層努力されたい。

⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果（児童養護施設）

※すべての評価細目（共通評価基準 45 項目・内容評価基準 41 項目）について、判断基準（a・b・c の 3 段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

共通評価基準（45 項目）

評価対象 I 養育・支援の基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c
<p><コメント>理念や基本方針は各年度の「運営方針」に明文化されてはいるものの、パンフレットや広報誌、ホームページ等での積極的な記載が見られない。また、子どもや保護者への周知の工夫も不十分と判断し、b評価とした。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
<p><コメント>家庭的養護推進に向けた取組が求められる中、本体施設の定員充足状況や入所児童の年齢特性等を踏まえた経営環境のよりの確な把握や分析が必要と判断し、b評価とした。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・b・c
<p><コメント>社会的養護を巡る動向を踏まえた園の経営課題について組織として取り組んでいるが、まだ各部署間や職員間での周知や共通理解が不十分と判断し、b評価とした。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定され	a・b・c

	ている。	
	<コメント>家庭的養護に関する推進計画は策定されているが、中・長期的な事業計画、収支計画は確認できなかったため、計画の策定は不十分と判断しb評価とした。	
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
	<コメント>運営方針は示されているが、それを以って単年度の事業計画とみなすことはできないと判断し、中・長期計画を踏まえた単年度の計画の策定についてはc評価とした。	
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
	<コメント>前項に同じ。よってc評価とした。なお、職員の意見をくみ上げる際に、小グループに分かれて実施されていることは評価できる。	
7	I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
	<コメント>前々項に同じ。よってc評価とした。	

I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
8	I-4-(1)-① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
	<コメント>第三者評価の定期的な受審や第三者評価基準に基づく自己評価の取り組みがなされている。しかし、受審結果や自己評価結果を分析、検討する体制が不十分と判断し、b評価とした。	
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
	<コメント>子どもの自立を見据えた低年齢児童に対する性教育の取り組み等、自己評価等に基づく課題の改善も一部行われている。しかしながら、課題の文書化や職員間での共有化、改善への計画的な取組等についてはまだ不十分と判断し、b評価とした。	

評価対象Ⅱ 施設の運営管理

Ⅱ-1 施設長の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
	Ⅱ-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。	
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し	a・b・c

	理解を図っている。	
	<p><コメント> ヒアリングにより、現施設長着任後は職員からの意見がよく出るようになるなど、職場の風通しがよくなり、組織の活性化も図られるようになったと確認した。今後は施設経営の方針や自らの役割や責任等について、積極的に文書化と職員への周知を図られたい。よって現段階ではb評価とした。</p>	
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
	<p><コメント>社会福祉法人改革等の資料は職員に配布、周知へ努力されているが、児童福祉法改正等の周知、また遵守への取組に関しては不十分と判断し、b評価とした。</p>	
	II-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。	
12	II-1-(2)-① 養育・支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・b・c
	<p><コメント>着任後、施設長自ら率先し内部研修を毎月1回から2回開催し、自己研鑽の必要性を伝える等、意欲的に養育・支援の質の向上にその指導力を発揮している。その指導力の今後に期待したい。よって現段階ではb評価とした。</p>	
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
	<p><コメント>昨年5月から諸記録や報告書等の電算化を図り、効果的な業務の実現や合理化に取り組み始めている。その実績、成果はこれからのことと判断し、現段階ではb評価とした。</p>	

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
	<p><コメント>人材確保はホームページ等で求人にも努力している。しかし、福祉人材の確保、育成に関し、計画的に取り組むための体制としては不十分と判断し、b評価とした。</p>	
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・c
	<p><コメント>期待する職員像を明確にしたうえでの、育成、採用・配置、給与、評価等の一体的、総合的な人事管理については確認できなかったため、c評価とした。</p>	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・b・c
	<p><コメント>職員の就業状況や意向の把握や分析など職場環境の改善に取り組んではいるものの、子どもたちの生活に合わせた勤務体制のため、人材や人員体制に関する具体的な改善計画として実施されるには至っていないと判断し、b評価とした。</p>	
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	

17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント>年3回の職員との面談を実施しているが、職員一人ひとりの目標管理への取組はこれからの課題であると判断し、b評価とした。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c
<p><コメント>研修計画の策定が不十分であり、また職員の勤務体制に十分な余裕がないために、職員の教育・研修が適切に実施されているとは言えないと判断し、b評価とした。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・c
<p><コメント>職員一人ひとりの教育・研修の機会は確保されているが、研修成果の評価・分析、またそれらが次の研修計画へどう反映されているかについての記録が確認できなかった。よって、b評価と判断した。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c
<p><コメント>「受入マニュアル」が整備され担当者も設置されているなど、その体制はある。しかし、実習生の専門職としての教育・育成についてのプログラムの策定が不十分である等、積極的な取組がなされているとは言えないと判断し、b評価とした。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・c
<p><コメント>ホームページにおいて財務、現況報告書等、事業内容が公開されておりa評価とした。今後とも、ホームページに限らず、印刷物、園だより『月刊ひまわり』等を活用し、より充実した法人、施設の運営に関する情報公開に取り組んでいただきたい。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
<p><コメント>公認会計士を導入し、その都度助言や指導を受け、公正かつ透明性の高い経営・運営の取組を行っているとは判断し、a評価とした。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・c

<p><コメント>清光園祭等を通して、積極的に子どもたちと地域との交流を広げるための取組を行っている。そのことは園だより「月刊ひまわり」、ホームページ等で確認できた。しかしながら、子どもたちの地域行事等への参加、交流についてはなお、より積極的な取組が求められると判断し、b評価とした。</p>		
24	<p>Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p>	a・b・c
<p><コメント>「受入マニュアル」により基本姿勢を明確にし、その体制も整備され確立されている。現在は学生ボランティアが多いとのことだが、学生に限らず、地域の様々な立場の方々をボランティアとして積極的に受け入れ、施設をより深く理解してもらうことは今後の課題と判断し、b評価とした。</p>		
<p>Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>		
25	<p>Ⅱ-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p>	a・b・c
<p><コメント>必要な社会資源は明示されており、緊急連絡網としても整備され、職員間で情報の共有化も図られている。しかし、それらの関係機関との連携や共通問題解決への協働に関してはこれからの課題であると判断し、b評価とした。</p>		
<p>Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
26	<p>Ⅱ-4-(3)-① 施設が有する機能を地域に還元している。</p>	a・b・c
<p><コメント>児童家庭支援センターを窓口として、施設開放として子育て中の親のふれあい活動サークル、地域への訪問指導、緊急時のシェルター機能等、有する専門性を地域に還元し、地域の福祉ニーズに積極的に対応していると判断し、a評価とした。</p>		
27	<p>Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p>	a・b・c
<p><コメント>児童家庭支援センターを中心として、子育て電話・面接相談、虐待防止啓発活動、里親サロン等、積極的に地域の福祉ニーズにもとづく、公益的な事業・活動が行われていると判断し、a評価とした。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施

Ⅲ-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。</p>		
28	<p>Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した養育・支援提供について共通の理解をもつための取組を行っている。</p>	a・b・c
<p><コメント>処遇現場職員以外の職種の職員との連携、勉強会や研修等、共通理解のための取組はまだ不十分と判断し、b評価とした。</p>		
29	<p>Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援提供が行われている。</p>	a・b・c
<p><コメント>子どものプライバシー保護に関するマニュアルや携帯電話の利用に係る規程等</p>		

<p>は整備されている。しかし、職員への周知状況や職員の認識にばらつきがあり、権利擁護への取組は不十分と判断した。また、建物が古い構造であり老朽化もみられ、子どもたちのプライバシーが十分に保護、配慮されているとは言えないと判断し、b評価とした。</p>		
<p>Ⅲ-1-(2) 養育・支援の提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p>		
30	<p>Ⅲ-1-(2)-① 子どもや保護者等に対して養育・支援選択に必要な情報を積極的に提供している。</p>	a・b・c
<p><コメント>園だより「月刊ひまわり」を毎月保護者に送付し、子どもたちの様子は丁寧に報告されている。しかし、子どもや保護者がサービス利用に関し、参考とする制度や福祉情勢等の提供については不十分と判断し、b評価とした。</p>		
31	<p>Ⅲ-1-(2)-② 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。</p>	a・b・c
<p><コメント>入所に関する説明は明文化され、職員誰もが対応できるようになっているが、養育・支援の開始時の子どもや保護者の置かれた様々な状況に沿った説明が不十分と判断しb評価とした。</p>		
32	<p>Ⅲ-1-(2)-③ 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。</p>	a・b・c
<p><コメント>職員不足等の理由から、措置変更や移行時の対応は要望があるときのみ対応となっている。よって、それらの際の組織的な継続性に配慮した対応は不十分と判断し、b評価とした。</p>		
<p>Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。</p>		
33	<p>Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。</p>	a・b・c
<p><コメント>意見箱を設置するなどしてその取組を行っているが、子どもたちへのヒアリングでは意見箱の存在を知らない子どももいた。組織的な取組としての、子どもの満足の向上に関する仕組みの整備はまだ不十分と判断し、b評価とした。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	<p>Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</p>	a・b・c
<p><コメント>苦情解決は養育・支援の質の向上のための有効な仕組みです。苦情解決の仕組みはあるが、子どもや保護者に向けての周知、また組織内部での周知・認識は不十分であり、その機能も十分発揮されていないと判断し、b評価とした。</p>		
35	<p>Ⅲ-1-(4)-② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。</p>	a・b・c
<p><コメント>子どもが相談や意見を述べやすい職員との関係づくりに取組、日々の養育・支援の場面でもそれらを保障するよう取り組んでいる。相談スペース設置の予定もあるとのこと。それらの環境整備、周知には工夫の余地があると判断し、b評価とした。</p>		
36	<p>Ⅲ-1-(4)-③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。</p>	a・b・c
<p><コメント>意見箱等での子どもたちの意見については棟内や担当職員間で対応することが</p>		

多く、それらを職員間で共有することが十分にできていない。また、子どもたちからの相談や意見に対する対応マニュアルの整備も不十分であると判断し、b評価とした。		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な養育・支援の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p><コメント>組織としてヒヤリハットは作成しているものの、その活用が十分にはなされておらず、対応策の検討や実践は不十分と判断。よって、安心・安全な養育・支援の提供を目的とするリスクマネジメント体制が適切に構築されているとは言いがたいと判断し、b評価とした。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント>看護師の配置、感染症予防パンフレットの職員配布、予防対策の啓発、発症時の対応の徹底など、感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備しているが、まだその取組は十分とは言えないと判断し、b評価とした。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p><コメント>毎月1回の避難訓練を実施している。ハザードマップを活用し立地条件下で起こりうる災害を把握する取組を行っている。非常用品や食糧の備蓄もされている。今後は地域の行政、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等との連携をよくなり、災害時の体制整備にさらに組織として取り組まれない。b評価とした。</p>		

Ⅲ-2 養育・支援の質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が提供されている。	a・b・c
<p><コメント>子どもの養育・支援における標準的な実施方法は各業務マニュアル等も含めた養育・支援全般にわたって定められていることが求められる。各業務マニュアルは確認できたが、それらを以って標準的な実施方法が文書化され、養育・支援が提供されているとみなすには不十分と判断し、b評価とした。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c
<p><コメント>各業務マニュアルの見直しは毎年1回実施されているが、上記のことにより標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立しているとするには不十分と判断し、b評価とした。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより養育・支援実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な養育・支援実施計画を適切に策定している。	a・b・c

<p><コメント>児童相談所、学校、医療機関等の情報を参考に自立支援計画を策定している。しかしながら部署を横断したさまざまな職種が参画する仕組みが確認できなかったため、適切に策定しているとするには不十分と判断し、b評価とした。</p>		
43	<p>Ⅲ-2-(2)-② 定期的に養育・支援実施計画の評価・見直しを行っている。</p>	a・b・c
<p><コメント>年1回、中間評価・見直しを行っている。しかし、養育・支援の質の向上に関わる課題等を明確にし、その上で質の向上への取組が積極的にされているかについては不十分と判断し、b評価とした。</p>		
<p>Ⅲ-2-(3) 養育・支援実施の記録が適切に行われている。</p>		
44	<p>Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。</p>	a・b・c
<p><コメント>養育・支援実施状況の記録の職員間での共有化を目指し、記録等の電算システム化を平成28年5月から開始した。情報を共有する仕組みの整備に着手したところだが、まだ開始後間がなく、これからの適切な運用、活用が課題であると判断し、b評価とした。</p>		
45	<p>Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。</p>	a・b・c
<p><コメント>保管責任者を配置し保管方法を定めている。平成28年5月から記録の電算システムを導入するなどして管理体制を構築したが、まだ十分に確立しているとは言いがたいと判断し、b評価とした。</p>		

内容評価基準（41項目）

※「共通評価基準評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施」の付加項目

A-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
<p>A-1-(1) <u>子どもの尊重と最善の利益の考慮</u></p>		
A①	<p>A-1-(1)-① 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。</p>	a・b・c
<p><コメント>処遇会議、職員会議等において養育・支援について常に話し合っており、日々取り組んでいる。今後は多職種による話し合いや、職場内のOJTやスーパービジョン等の体制整備が必要と判断し、b評価とした。</p>		
A②	<p>A-1-(1)-② 子どもの発達段階に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。</p>	a・b・c
<p><コメント>家族や親族、児童相談所等と協議の上、行っているが、伝えるタイミングや伝</p>		

える内容、伝え方、伝えたあとの配慮等についての職員間での共有がやや不十分と判断し、b評価とした。		
A-1-(2) 権利についての説明		
A③	A-1-(2)-① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	a・b・c
＜コメント＞子ども一人ひとりに対応して、日々の生活の中で説明してはいるが、定期的な全体の場での説明は不十分と判断し、b評価とした。		
A-1-(3) 他者の尊重		
A④	A-1-(3)-① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	a・b・c
＜コメント＞小学生へのヒアリングでの明るい受け答えやその内容から、日々の生活の中で子どもたちは他者への心づかいや配慮する心を育てていると思われた。職員の適切な支援がなされていると判断し、a評価とした。		
A-1-(4) 被措置児童等虐待対応		
A⑤	A-1-(4)-① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めするような行為を行わないよう徹底している。	a・b・c
＜コメント＞被措置児虐待ガイドラインに基づき対応しており、日ごろから各種会議等において体罰等を行わないように職員の意識改革に取り組んでいる。しかしながら、徹底しているとまでは言えないと判断し、b評価とした。更なる取組の徹底を期待する。		
A⑥	A-1-(4)-② 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a・b・c
＜コメント＞被措置児虐待ガイドラインにより早急な事実確認と対応をしているが、不適切なかかわりを発見した際の記録が確認できなかったため、現段階では取組は不十分と判断し、b評価とした。		
A⑦	A-1-(4)-③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	a・b・c
＜コメント＞被措置児童等虐待の届出や通告に適切に対応するための体制はできているが、それらに関する子どもたちへの説明や周知は不十分と判断し、b評価とした。		
A-1-(5) 思想や信教の自由の保障		
A⑧	A-1-(5)-① 子どもや保護者等の思想や信教の自由を保障している。	a・b・c
＜コメント＞保護者等から宗教関係の行事への参加申し出があれば速やかに調整を行い、希望に沿うように対応しており、子どもや保護者等の思想、信教の自由は保障されていると判断し、a評価とした。		
A-1-(6) 子どもの意向や主体性への配慮		
A⑨	A-1-(6)-① 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。	a・b・c

<p><コメント>子どもたちへのアンケートの回答に、施設での新しい生活への不安を口に出せない雰囲気がある、とのコメントがあった。また、いくら苦しくても「大丈夫です」と言わないと嫌われてしまうのではないかと思い、相談もできない、とのコメントもあった。施設としての取組は確認できたが、より一層、子どもたちの気持ちに寄り添った取組を期待し、b評価とした。</p>		
A⑩	<p>A-1-(6)-② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。</p>	a・ b ・c
<p><コメント>余暇にテレビを一緒に見たり、土・日にグラウンドや近所の公園で一緒に遊ぶなど、ともに過ごす時間を持つなどしている。しかしながら、子どもたちへのアンケートの回答には「仕事だからでしょ、とってしまおう」とのコメントもあった。自己評価の判断理由欄の記述にも「職員は住込みではないので、共生の意識に子どもとのズレがあるように思う」とある。このズレを少なくする取組を期待して、b評価とした。</p>		
<p>A-1-(7) 主体性、自律性を尊重した日常生活</p>		
A⑪	<p>A-1-(7)-① 日々の暮らしや、余暇の過ごし方など健全な生活のあり方について、子ども自身が主体的に考え生活できるよう支援している。</p>	a ・b・c
<p><コメント>スポーツや地域行事への参加やアルバイトの選択、また共有スペースのテレビや図書等の自由な使用など、子どもたちの主体性、自律性は尊重されていると判断し、a評価とした。</p>		
A⑫	<p>A-1-(7)-② 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。</p>	a・ b ・c
<p><コメント>子どもの発達段階に応じた支援は行われているが、高校生において本人にバイト料が知らされていないなど、子どもを主体とした支援とはいえない点もあり、子どもたちの経済観念の確立に向けての支援としては不十分と判断し、b評価とした。</p>		
<p>A-1-(8) 継続性とアフターケア</p>		
A⑬	<p>A-1-(8)-① 家庭復帰にあたって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう復帰後の支援を行っている。</p>	a・ b ・c
<p><コメント>家庭復帰後、児童相談所や関係機関を訪問することがあるなど、一定の支援は行っているが、関係機関との積極的な支援体制の構築や整備を行うまでには至っていないと判断し、b評価とした。</p>		
A⑭	<p>A-1-(8)-② できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。</p>	a・b・ c
<p><コメント>過去に状況に応じて措置延長したことはあるが、施設としては基本的には延長を認めていない。よって積極的に取り組んでいるとは言えないと判断し、c評価とした。</p>		
A⑮	<p>A-1-(8)-③ 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。</p>	a・ b ・c
<p><コメント>社会生活における経済の仕組みを教えたり、銀行などでの諸手続等について体験</p>		

させるなどの支援を行っている。社会生活における子どもにとっての多くの未経験のことを想定した取組、また相談体制や他関係機関等との連携体制の整備等についてはまだ十分と判断し、b評価とした。

A-2 養育・支援の質の確保

A-2-(1) 養育・支援の基本		
A⑯	A-2-(1)-① 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかりと受け止めている。	a・b・c
<p><コメント>子どもたちへのアンケートの回答では、子どもたちの同じような行動に対して、職員によって子どもたちへの対応の違いがあるのを指摘する声もあった。子どもと寄添い、日常生活の中で気持ちをしっかりと受け止め、信頼関係を深めようと取り組んでいるが、十分とは言えないと判断し、b評価とした。</p>		
A⑰	A-2-(1)-② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a・b・c
<p><コメント>子どもへのアンケートやヒアリング（小学生）からはそれなりに基本的欲求の充足感は感じられた。しかしながら、職員との信頼関係の有無は子どもによって異なり、基本的欲求の充足に向けての支援は十分とは言えないと判断し、b評価とした。</p>		
A⑱	A-2-(1)-③ 子どもを信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a・b・c
<p><コメント>子どもたち（小学生）へのヒアリングにおいては、集団生活ではあるが職員による個別の配慮や見守り等がある、との趣旨の意見が聞かれた。子どもを信じて見守る姿勢を大事にした、子どもたちの自己肯定感を高める取組を行っているが、まだ十分とはいえないと判断し、b評価とした。</p>		
A⑲	A-2-(1)-④ 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	a・b・c
<p><コメント>セレクション行事といった子どもたち自身が選択し決定する機会が設けられていることは、子どもたち（小学生）へのヒアリングにおいても肯定する声が聞かれた。が、それで十分とは言えず、これからも必要性があれば可能な限りそれらを保障されたい。b評価とした。</p>		
A⑳	A-2-(1)-⑤ 秩序ある生活を通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a・b・c
<p><コメント>午前の施設内の見学や、午後、聞こえてきた職員と学校から帰ってきた子どもたち（小学生）との会話などから、基本的な生活習慣等の確立に向けた養育・支援が営まれていることが伺われた。しかしながら、組織全体としての子どもたちへの養育・支援は十分なされているとはいいがたいと判断し、b評価とした。</p>		
A-2-(2) 食生活		
A㉑	A-2-(2)-① 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみなが	a・b・c

	ら食事ができるよう工夫している。	
	<p><コメント>子どもたちの生活時間に応じた食事の時間が設定されている。子どもたちへのアンケートの回答からも食事が楽しみとの声があり、特に誕生日メニューは大きな楽しみの一つのようだ。子ども同士、また子どもと職員とのコミュニケーションの場としても環境設定されていると判断し、a評価とした。</p>	
A22	A-2-(2)-② 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	a・b・c
	<p><コメント>嗜好調査も実施するなどして、子どもたちの健康状態や嗜好に配慮した食事の提供は適切に行われていると判断し、a評価とした。</p>	
A23	A-2-(2)-③ 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	a・b・c
	<p><コメント>日々の食事の献立は事前に提示されている。作物を栽培したり、子どもたちの基礎的な調理技術習得への機会も設けられるなど、食生活への関心を高め、食習慣を身につけるための支援は適切に行われていると判断し、a評価とした。</p>	
A-2-(3) 衣生活		
A24	A-2-(3)-① 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a・b・c
	<p><コメント>子どもたちの身だしなみは整っており、体に合った清潔な衣服が提供されている。好みの衣服の購入等の機会も用意されているなど、衣服を通じての子どもたちの自己表現への支援は適切になされていると判断し、a評価とした。</p>	
A-2-(4) 住生活		
A25	A-2-(4)-① 居室等施設全体がきれいに整美されている。	a・b・c
	<p><コメント>施設建物は老朽化してきているが、その中であってできる限りの補修や整備により住環境の改善に努力している。しかしながら、居室等施設全体の温度管理等や、子どもたちが居室の掃除や整理整頓の習慣を身につけるための取組等が不十分と判断し、b評価とした。</p>	
A26	A-2-(4)-② 子ども一人ひとりの居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	a・b・c
	<p><コメント>子どもたちの個人の空間は確保され、共有スペースも年齢等に応じて配慮されている。しかしながら、子どもたちが一人になりたいときの居場所の確保は不十分と判断し、b評価とした。</p>	
A-2-(5) 健康と安全		
A27	A-2-(5)-① 発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	a・b・c
	<p><コメント>小学生は毎朝体温を測るなど、子どもの発達段階に応じた基本的な生活習慣が身につくよう支援している。また自分自身の健康について自己管理ができるよう支援していると判断し、a評価とした。</p>	
A28	A-2-(5)-② 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応してい	a・b・c

	る。	
<p><コメント>子どもたちの日ごろの健康管理は看護師が行っており、必要な場合には、車で10分ほどにある協力病院との連携により適切に対応していると判断し、a評価とした。</p>		
<p>A-2-(6) 性に関する教育</p>		
A29	A-2-(6)-① 子どもの年齢・発達段階に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a・b・c
<p><コメント>以前、低年齢の子どもたちに対して行ったことはあるものの、現在はなされていない。今後の取組が求められると判断し、C評価とした。</p>		
<p>A-2-(7) 自己領域の確保</p>		
A30	A-2-(7)-① でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	a・b・c
<p><コメント>衣服や歯ブラシ等は個人所有だが食器は共用であった。子どもの好みを尊重し、自他の自覚を促すためにも、例えば、日常的に使用する茶碗や箸、湯飲み等についての個別性への配慮を期待し、b評価とした。</p>		
A31	A-2-(7)-② 成長の記録（アルバム等）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	a・b・c
<p><コメント>行事等はライフストーリーワークとして記録し、低年齢児は職員がアルバムを整理している。しかし、それが職員の個人的な取組に留まっており、施設全体としての積極的な取組にはなっていないと判断し、b評価とした。</p>		
<p>A-2-(8) 行動上の問題及び問題状況への対応</p>		
A32	A-2-(8)-① 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	a・b・c
<p><コメント>子どもに行動上の問題があった場合は、その都度、施設全体で立て直すべく、各部署で早期把握、対応に努めている。関係機関と連携、情報共有により適切に対応している。しかし、複雑困難な問題への対応は十分とは言えないと判断し、b評価とした。</p>		
A33	A-2-(8)-② 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a・b・c
<p><コメント>日ごろから、部屋の配置や子ども同士の相性、関係性の把握に取り組んでいる。また遊びの場面などでは、子どもたちの集団の中に職員が1人でも入っているようにするなど、施設全体で取り組んでいるが、十分とは言えないと判断し、b評価とした。</p>		
A34	A-2-(8)-③ 虐待を受けた子ども等、保護者等からの強引な引取りの可能性がある場合、子どもの安全が確保されるよう努めている。	a・b・c
<p><コメント>児童相談所と連携しながら対応しているが、早く引き取ろうとする保護者や強引な引取りをする家庭もあるなど、その対応には苦慮している。よって、子どもの安全が確保されるよう努めてはいるものの、まだ十分とはいえないと判断し、b評価とした。</p>		
<p>A-2-(9) 心理的ケア</p>		
A35	A-2-(9)-① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を	a・b・c

	行っている。	
<p><コメント>心理担当職員を2名配置しているが、心理的ケアが必要な子どもへの対応に関する職員研修やスーパービジョン等への取組、また施設内での異職種間の連携が十分でないと判断し、b評価とした。</p>		
<p>A-2-(10) 学習・進学支援、進路支援等</p>		
A36	A-2-(10)-① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント>小学校低学年児童へのヒアリングで、自主勉強のためのノートを用意するなどして子ども一人ひとりの学力等に応じた学習支援がなされていることを確認した。しかし、子どもたち一人ひとりの必要に応じた個別的な学習のための環境づくりや多様な学習機会の提供は不十分と判断し、b評価とした。</p>		
A37	A-2-(10)-② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a・b・c
<p><コメント>進路については、子どもが自己決定できるよう必要な情報を提供しており、子どもの希望や保護者の意向を確認しながら、経済的支援も含め協議の場を設けている。しかしながら、進学を希望する子どもへの支援については不十分と判断し、b評価とした。</p>		

A38	A-2-(10)-③ 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a・b・c
<p><コメント>アルバイトの選択の機会は用意されており、希望者には職場体験等も行われている。子どもたちの社会経験の拡大に取り組んでいると判断し、a評価とした。</p>		
<p>A-2-(11) 施設と家族との信頼関係づくり</p>		
A39	A-2-(11)-① 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a・b・c
<p><コメント>園だより「月刊ひまわり」やホームページ等により、施設での生活の様子を家庭に知らせるなど、家族との信頼関係の構築に取り組んでいる。しかし、家族からの相談に応じる体制づくりは十分に確立されているとはいえないと判断し、b評価とした。</p>		
<p>A-2-(12) 親子関係の再構築支援</p>		
A40	A-2-(12)-① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a・b・c
<p><コメント>児童相談所等の関係機関と協議・連携し家族支援の取組を行っている。しかし、親子関係の再構築のための支援方針の施設全体での共有や、積極的な家族支援が行われているとするには不十分と判断し、b評価とした。</p>		
<p>A-2-(13) スーパービジョン体制</p>		
A41	A-2-(13)-① スーパービジョンの体制を確立し、施設の組織力の向上に取り組んでいる。	a・b・c
<p><コメント>スーパービジョンの体制の確立は重要であり、課題であるとの認識はあり、その体制構築に取り組んでいるものの、まだ十分に確立されるには至っていないと判断し、c評</p>		

価とした。